



2016年4月1日

日本電産グループ入社式訓示の要旨

何十年ぶりとも言える技術革新があちこちでおきて新たな成長のチャンスの芽がふき出てきています。このような大きなマーケット変革がおきる時期に新社会人となられる皆さんには素晴らしいチャンスが待ち受けていると思って下さい。

一方では過去の考え方や行動指針も大きく変革を求められています。まず、その1つ目は、働き方の改革改善です。日本電産グループも1973年創業以来、必死に働いて兆円企業の仲間入りを果しました。しかし、これから先も大きな成長を可能にするには生産性を大幅に向上させて高効率短時間労働への転換が急務です。

2つ目は、女性が活躍出来る職場への改革改善です。グローバルベースで見れば、女性が安心して働ける会社に変ってきていますが、日本国内ではまだまだ不十分です。本日付ではじめて女性の人事部長が生まれました。どうすればもっともっと働きやすい職場に変えていけるのかを全社運動として考えていきたいと思えます。

3つ目は、どこまでもグローバル企業としての成長を可能にすることです。そのため日本人を中心とした職場環境づくりではダメであり、日本電産グループの全ての職場でグローバル基準で意欲的に働ける職場づくりが必要であり、そのためにも共通言語である英語力の向上も必須となってきたことを理解すべきです。

代表取締役会長兼社長 永 守 重 信

以上